

2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月13日 東

上場会社名 インターライフホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 1418 URL <https://www.n-interlife.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 正英
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 川島 仁 (TEL) 03-3547-3227
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	4,811	△6.4	362	124.2	365	124.1	229	112.3
2020年2月期第1四半期	5,139	15.2	161	—	163	—	108	—

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 227百万円(258.4%) 2020年2月期第1四半期 63百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	12.01	—
2020年2月期第1四半期	5.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	11,075	3,965	35.8
2020年2月期	10,404	3,799	36.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 3,965百万円 2020年2月期 3,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△0.3	400	12.5	350	2.9	150	38.5	7.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

現在新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループへの影響を精査しております。上記の業績予想にはその影響を織り込んでおりません。当社グループへの影響について慎重に見極め、今後業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	20,010,529株	2020年2月期	20,010,529株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	889,880株	2020年2月期	957,280株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	19,097,938株	2020年2月期1Q	19,452,577株

(注) 期中平均株式数(四半期累計)については、株式給付信託導入に伴い資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式を控除対象の自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた緊急事態宣言が発令され、外出自粛や営業自粛等による個人消費の減少、企業の生産活動の減少などもあり、今後の経済動向は極めて厳しい状況が続くと思われま

す。このような状況のもと、主力である工事業の株式会社日商インターライフにおいて、受注済み案件の完工や新型コロナウイルス感染症対策などの工事が進み堅調に推移いたしました。しかしながら、人材サービス事業および店舗サービス事業においては、主要取引先であるアミューズメント店舗等の休業要請による営業自粛などが影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。一方利益については、不動産仲介案件が成約したこと

から前年同四半期を大きく上回りました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,811百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業利益は362百万円(前年同四半期比124.2%増)、経常利益は365百万円(前年同四半期比124.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は229百万円(前年同四半期比112.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(工事業)

主力である工事業は、内装工事等を行う株式会社日商インターライフ、音響・照明設備工事等を行う株式会社システムエンジニアリング、清掃・メンテナンス等を行うファシリティーマネジメント株式会社、空調設備工事等を行う玉紘工業株式会社が展開しております。

株式会社日商インターライフは、受注済み案件の完工に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのシールド工事や法改正に併せた喫煙ブースの設置および分煙工事の受注が進み前年同四半期を上回る推移となりました。株式会社システムエンジニアリングは、一部工事の遅れが発生しており前年同四半期を下回る推移となりました。ファシリティーマネジメント株式会社は、清掃部門において主要取引先店舗が休業要請や営業自粛による影響を受け前年同四半期を下回る推移となりました。玉紘工業株式会社は、公共工事案件の中断や計画の見直しなどがあるものの前年同四半期を上回る推移となりました。

この結果、工事業の売上高は3,394百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。

(人材サービス事業)

人材サービス事業は、事務派遣等を行うディーナネットワーク株式会社と株式会社アヴァンセ・アジル、製造業向け派遣・請負を行う株式会社ジーエスケーとグランドスタッフ株式会社が展開しております。

ディーナネットワーク株式会社は、主要取引先の休業や派遣契約の解除などが影響し、前年同四半期を大きく下回る推移となりました。株式会社アヴァンセ・アジルは、通信インフラ企業への派遣が堅調であったことから前年同四半期を上回りました。株式会社ジーエスケーとグランドスタッフ株式会社は、取引先の減産が影響し前年同四半期を下回る推移となりました。

この結果、人材サービス事業の売上高は542百万円(前年同四半期比13.2%減)となりました。

(店舗サービス事業)

店舗サービス事業は、携帯電話等の販売を行う株式会社エヌ・アイ・エル・テレコム、広告代理業等を行うアーキ・フロント株式会社、店舗スタッフ等に向けた研修等を行うデライト・コミュニケーションズ株式会社、中古遊技機の販売等を行う株式会社ベストアンサーが展開しております。

株式会社エヌ・アイ・エル・テレコムは、外出自粛や短縮営業などが影響し携帯電話の販売台数が大幅に減少したことにより、前年同四半期を下回る推移となりました。アーキ・フロント株式会社、デライト・コミュニケーションズ株式会社、株式会社ベストアンサーにおいては、主要取引先の営業自粛による受注減などにより前年同四半期を大きく下回る推移となりました。

この結果、店舗サービス事業の売上高は552百万円(前年同四半期比37.8%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当社と不動産仲介等を行う株式会社ラルゴ・コーポレーションが展開しております。

株式会社ラルゴ・コーポレーションにおいて予定されていた不動産仲介案件が堅調に進み、売上高は288百万円(前年同四半期比597.6%増)となりました。

(その他)

その他は、当社グループのシェアードサービス業務等を行う株式会社アドバンテージが展開しており、売上高は33百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産及び負債)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて670百万円増加し、11,075百万円となりました。これは現金及び預金が1,207百万円および未成工事支出金が121百万円増加した一方、受取手形・完成工事未収入金等が574百万円およびのれんが22百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて504百万円増加し、7,109百万円となりました。これは支払手形・工事未払金等が247百万円減少した一方、短期借入金が80百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が63百万円、賞与引当金が102百万円およびその他に含まれる預り金が477百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて166百万円増加し、3,965百万円となりました。これは利益剰余金が149百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績においては、2020年4月13日に公表した2021年2月期の業績予想に変更はありません。

第1四半期累計期間における連結業績は、前年同四半期と比べ減収増益で推移いたしました。

現在緊急事態宣言が解除され、経済活動も徐々に回復しておりますが、新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明であり、いわゆる第二波などの不確実性が残っております。当社グループにおける業績への影響は、現在精査中であり今後の動向を慎重に見極め、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,144,673	4,352,035
受取手形・完成工事未収入金等	2,725,283	2,150,895
たな卸資産	108,559	100,323
未成工事支出金	1,197,586	1,319,047
その他	217,664	150,100
貸倒引当金	△1,729	△1,619
流動資産合計	7,392,038	8,070,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,365,478	1,376,356
減価償却累計額	△761,045	△770,698
建物及び構築物（純額）	604,432	605,657
機械装置及び運搬具	40,682	40,682
減価償却累計額	△33,646	△34,256
機械装置及び運搬具（純額）	7,036	6,425
土地	973,591	973,591
その他	295,877	302,631
減価償却累計額	△195,517	△203,665
その他（純額）	100,360	98,966
有形固定資産合計	1,685,420	1,684,641
無形固定資産		
のれん	326,396	304,212
その他	243,002	244,259
無形固定資産合計	569,399	548,472
投資その他の資産		
投資有価証券	446,424	445,257
破産更生債権等	123,744	127,839
その他	328,613	343,027
貸倒引当金	△141,054	△144,791
投資その他の資産合計	757,727	771,333
固定資産合計	3,012,547	3,004,447
資産合計	10,404,586	11,075,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,680,620	2,432,783
短期借入金	800,000	880,000
1年内返済予定の長期借入金	548,432	563,808
1年内償還予定の社債	105,700	105,700
未払法人税等	67,180	56,898
未成工事受入金	233,308	270,661
賞与引当金	224,155	326,196
完成工事補償引当金	11,171	11,118
資産除去債務	1,478	-
その他	633,809	1,089,604
流動負債合計	5,305,856	5,736,769
固定負債		
社債	168,650	168,650
長期借入金	760,249	808,591
役員退職慰労引当金	19,005	19,005
株式給付引当金	163,055	175,291
退職給付に係る負債	72,828	85,494
資産除去債務	37,631	37,663
長期末払金	166	-
その他	77,985	78,341
固定負債合計	1,299,572	1,373,035
負債合計	6,605,428	7,109,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,460	2,979,460
資本剰余金	698,682	698,682
利益剰余金	430,241	579,630
自己株式	△263,789	△245,216
株主資本合計	3,844,595	4,012,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,437	△47,131
その他の包括利益累計額合計	△45,437	△47,131
純資産合計	3,799,157	3,965,425
負債純資産合計	10,404,586	11,075,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	5,139,039	4,811,549
売上原価	4,074,396	3,542,401
売上総利益	1,064,642	1,269,148
販売費及び一般管理費	903,172	907,054
営業利益	161,469	362,094
営業外収益		
受取利息	699	172
受取配当金	6,473	6,442
助成金収入	3,960	285
その他	4,039	4,299
営業外収益合計	15,173	11,198
営業外費用		
支払利息	8,185	6,748
訴訟関連費用	2,751	-
その他	2,595	1,075
営業外費用合計	13,532	7,824
経常利益	163,110	365,468
特別利益		
投資有価証券売却益	2,395	-
特別利益合計	2,395	-
特別損失		
固定資産除却損	-	1,898
特別損失合計	-	1,898
税金等調整前四半期純利益	165,506	363,570
法人税、住民税及び事業税	76,826	150,493
法人税等調整額	△19,391	△16,353
法人税等合計	57,435	134,139
四半期純利益	108,071	229,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,071	229,430

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	108,071	229,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,536	△1,694
その他の包括利益合計	△44,536	△1,694
四半期包括利益	63,534	227,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,534	227,736

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社および当社グループ会社の役員および執行役員に対する業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

1. 取引の概要

当社は、本制度の導入に際し役員株式給付規程を制定し、同規程に基づき、将来給付する株式の取得資金として、信託銀行に金銭を信託し、信託銀行はその信託された金銭により当社の株式を取得します。

2. 会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）に準じて、役員および執行役員に割り当てられる見積りポイント数を基礎として、費用およびこれに対応する引当金を計上しております。

3. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度末において263,779千円、957,200株、当第1四半期連結累計期間において245,205千円、889,800株であります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社および当社グループ会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	工事業	人材サービス事業	店舗サービス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,548,328	624,513	888,067	41,374	5,102,283	36,756	5,139,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,084	22,354	5,258	13,282	41,980	34,113	76,093
計	3,549,412	646,868	893,326	54,656	5,144,263	70,869	5,215,132
セグメント利益	218,247	227	39,487	24,404	282,367	11,966	294,333

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループ会社のシェアードサービス業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	282,367
「その他」の区分の利益	11,966
セグメント間取引消去	△400,391
のれんの償却額	△26,120
全社収益(注)1	448,559
全社費用(注)2	△154,910
四半期連結損益計算書の営業利益	161,469

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの配当金収入等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	工事業	人材サービス事業	店舗サービス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,394,961	542,070	552,165	288,610	4,777,807	33,741	4,811,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,888	17,607	3,605	6,568	49,669	52,019	101,688
計	3,416,849	559,678	555,770	295,179	4,827,477	85,761	4,913,238
セグメント利益又は損失(△)	255,180	△64,361	△7,530	237,384	420,672	5,968	426,641

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループ会社のシェアードサービス業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	420,672
「その他」の区分の利益	5,968
セグメント間取引消去	△445,988
のれんの償却額	△18,903
全社収益(注) 1	534,312
全社費用(注) 2	△133,967
四半期連結損益計算書の営業利益	362,094

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの配当金収入等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。